

遠視 (えんし)

主な症状

近くが見にくい。疲れやすい。

どんな病気？

遠視とは、眼の調節機能が働いていないとき、眼に入った平行線が網膜よりも後方に像を結ぶ屈折状態をいいます。遠視では、近い所を見るときも遠い所を見るときもピント調節が必要で、常に毛様体筋を緊張させる必要があるため、特に近くを見る作業時に視力障害や眼精疲労を起こしやすくなります。症状が余り苦にならない人はメガネを掛けなくてもかまいません。しかし、症状の激しい人は眼科の受診をしてください。小児では遠視が強いと弱視の原因になることもあります。また、学童の場合落ち着きや根気がなかったり、あきっぽかったり、本が嫌いだという症状も現われやすくなります。こういった場合は裸眼視力がよくても眼鏡をかける必要があります。

対処Q&A

Q 検査のみ所要時間は？

A 30分

※眼鏡処方の場合+20分

※コンタクトレンズ検査の場合+30分(ただし初心者は装用練習や取扱い説明にさらに50分程度必要となります)

Q 遠視は遠くがよく見えるのに、何故眼鏡が必要なのですか？

A 近くのものを見るときも、遠くのものを見るときも、たえず遠近調節の機能を働かせているので、自分では気がつかなくても普通の人よりも疲れやすいためです。長時間の読書や手芸などの手元の細かい作業などは大変つらい作業となります。

コンタクトレンズやメガネ装用者へのアドバイス

遠視の場合、メガネやコンタクトレンズで矯正が可能です。強度の遠視の場合はメガネよりもコンタクトレンズの方が見え方が良いでしょう。



月額1,890円(両眼)からの定額制コンタクトレンズ『メルスプラン』!

メルスプランは、月額1,890円からの毎月定額の料金で高酸素透過性のハードレンズや新素材シリコーンハイドロゲル使い捨てソフトレンズ(2週間使い捨て)等メニコンの全てのコンタクトレンズから選ぶことができます。新素材シリコーン使い捨てソフトレンズは乾燥を軽減し、ハードレンズ並みの高酸素透過性もあります。また、使用者のニーズや目の状態に合わせて種類変更もできます。

米倉眼科

滋賀県の守山市と草津市の南草津に医院をもち、一般眼科診療、白内障の手術、コンタクトレンズ、メガネ処方などを行っております。

守山本院 TEL 077-583-2134

JR守山駅前西口小島ビル5F 定休日：木曜午後、日曜、祝日

南草津分院 TEL 077-569-1288

JR南草津駅徒歩3分(MNK-3ビル)3F 定休日：水曜日、日曜、祝日